

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	志木市役所			代表者名	香川武文
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合行政部デジタル推進課	連絡先電話番号	048-473-1291
担当者役職	課長	担当者氏名	八木征利	連絡先E-mail	
住所	353-0002 埼玉県志木市中宗岡1-1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	自治体DXへの取組
概要	自治体DXへの知識の習得や取組方法を学ぶ		
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	227	令和6年11月14日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月21日	講演(実地)	9時00分	16時00分	180
			活動時間(分)	240	
2-2. 派遣場所	会場名	志木市役所	最寄駅	志木駅	
	所在地	埼玉県志木市中宗岡1-1-1	最寄駅からの交通手段	路線バス(国際興業バス・東武バス)	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	研修のコマ数を1日に4コマと詰め込んでしまったが、しっかり対応していただいた。また、slidoを活用して、ただ聞くだけの研修ではなく受講者参加型であったり、自治体での取り組みを事例として紹介し、DXのスタートから完了までがリアルに感じることができたり、資料も簡潔明瞭であったなど、受講者からも好評であった。
アドバイザーへの要望事項	いつも大変お世話になっています。これからも情報交換をさせていただき色々と学ばせていただければと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	50人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	50			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	現在、自治体DXについての取り組みを始めているが、職員の自治体DXに対する意識や関心が低く、前例踏襲や現状維持とすることが多く見受けられる。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX実施の実例を、同じ公務員目線で知ることにより、難しくとらえる事ではなく、自分事として捉えることで、DXのXに自らが取り組むことが出来るようになる。 自治体間の横のつながりを増やすことで、業務の課題解決につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの考え方、取り組み方 ・現状の「イケナイ」を放置せず、改革を進める必要性 ・DXはデジタルツール導入だけでなく、組織文化改革も必要 ・職員一人ひとりが「ゲームチェンジャー」になることが重要 ・具体的な取り組み例（浜松市の窓口改革の事例） ・目指すべきは、職員と市民双方にとってより良い窓口	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・自治体DXの取り組み方法について理解が進んだ (研修後、自治体DXへの理解、デジタル化とDXの違い、推進の重要性、職員の意識改革の必要性、DX推進への意欲、ゲームチェンジャーへの共感、研修内容の役立ち度、人材の重要性など、様々な点で理解が深まり、意識が高まった。) ・デジタル改革共創プラットフォームへの原課職員の参加が10名以上となり、原課レベルで他自治体との業務に就いての情報交換が行われるようになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修前には「ほとんど知らなかった」「あまり知らなかった」と約4割の回答があった自治体DXへの理解度は、研修後には「かなり深まった」「非常に深まった」と回答した人が、約6割半に達した。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・現場レベルでのDXのXについての実践	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある ・電子申請の増と電子申請に関わる業務フロー等の見直し ・デジタル改革共創プラットフォームへの参加者数増 ・管理職への自治体DX研修の実施
4-4. 事業の最終的な目指す姿	自らが課題を見つけられ、業務改革に取り組みことができる(ゲームチェンジャーになる)職員を増やす。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

